

令和4年度第1回米子市学校給食運営委員会議事録概要

1 開催日時 令和4年5月19日(木) 15:00～15:55

2 開催場所 米子市立学校給食センター 2階 会議室

3 出席者

＜米子市学校給食運営委員会委員＞

内田委員(会長)、織奥委員、山根委員、松本委員、藤田委員、土井委員、佐伯委員、
松田委員、増田委員、築谷委員

＜事務局＞

学校給食課 伊藤課長、野口課長補佐、堀部係長、三宅栄養教諭

4 会議次第

(1) 開会

(2) 委員自己紹介

(3) 副会長互選

(4) 会長あいさつ

(5) 議事

ア 令和3年度事業報告について

イ その他

いきいきこめっこプロジェクトについて

(6) その他

(7) 閉会

5 議事の概要

(注：委員自己紹介、副会長互選、会長あいさつ及び事務局の資料説明は省略しています。
また、発言は要約しています。)

議長(内田会長)

日程に従いまして、議事の第1号 令和3年度事業報告について、事務局からの説明をお願いいたします。

事務局(野口課長補佐)

令和3年度事業報告について説明させていただきます。事前にお配りしておりました資料の方をご覧ください。

[議事第1号 令和3年度事業報告について説明を行う]

議長（内田会長）

議事の第1号の議案及び添付資料について、事務局から詳しい説明をしていただきました。この件につきまして、何かお聞きになりたいこと、ご質問、ご感想等がありましたらよろしくお願いたします。

土井委員

令和3年度は特に問題なく事業が実施されたということですが、学校給食センターですとか各学校の配膳室等を含めて、設備の改修を行ったとか、何か問題点があったとか、そういったことは令和3年度には特になかったでしょうか。

事務局（伊藤課長）

令和3年度は、共同調理場のうち弓ヶ浜共同調理場と尚徳共同調理場に空調設備を入れました。それまでは調理場の中の温度が、なかなか適正な温度にならないというようなことがありましたが、空調を増設したことにより、温度も下がり適正な湿度、温度の管理ができるようになりました。調理員の方の作業も体に負担をかけることなく進められているかなあと思っております。

あと淀江小学校では、配膳室に空調設備を入れることができましたので、そちらも円滑に学校給食を進める上では重要なポイントだったかなあとというふうに考えております。

その他、様々な調理機器の更新は計画的に進めさせていただいているところです。

議長（内田会長）

その他、いかがでしょうか。

佐伯委員

気になっていたのが、分散登校の時に1品減らされたということと、それから日々いろんな学校で臨時休校まではいかなかったとしても、学年とか学級の閉鎖があったりして、食数がずいぶん変わったのではないかなあと思いました。

検査結果にも書いてありましたが、東洋食品さんがすごく適格に対応してくださったので、多分それぞれの学校は、特に困り感はなかったのではないかなあと思うのですが、予定よりも食数が減ったことによる余った食材をうまく使い回せたのか、廃棄にしまったのか、というようなところがちょっと気にはなっていました。

SDGsなどいろいろ言われている時代なので、栄養士の先生方がずいぶん工夫をされて、使い回してくださったのではないかなあと思いますが、その辺をちょっとお聞きしたいなあと思っていました。

事務局（伊藤課長）

今のお尋ねについてですが、言われるとおり、栄養士や調理員さんの工夫によって、使い回せる食材は先送りにしました。野菜などは翌日以降に使えるものもあります。即日でしたら、例えば1クラス分の汁が出なくなりましたということになったら、給食センター全体で1クラス分を散らしてしまって、全校に分けて食べていただくということにすると、そんなにそれぞれの量も増やさずに食べていただけるものは、無駄にならないということもございました。

あと、業者さんの方がたいへん協力的で、通常でしたら納めたものや納める予定だったものを、要らなくなったので持って帰ってくださいとか、キャンセルさせてくださいとか言っても、お金は払ってもらいますよというふうに言われることもあるのかなあと思っておりますけれども、本当に協力的で、分かりました、分かりました、大変ですねと言われ、引き取っていただけるものがほとんどでございました。

ただ、引き取られ手がないものとか、賞味期限が短いもの、解凍してしまってもう使わないとどうしようもないものについては、残念ながら廃棄するという部分もございました。

あと、米飯などは配りようもないので、炊飯を止めるのが間に合わなかったら、残念ながら廃棄させていただくこともございました。

全体の総量で考えますと、本当に少ない廃棄で済んだのかなあという認識でございます。

議長（内田会長）

他には、いかがでしょうか。

藤田委員

義方小学校だけでも今年度3回学級閉鎖になっています。教育委員会と相談をしながら、夜にPCR検査キットを配布したりすることもあり、本当にいつ学級閉鎖になるか分からない状況の中ですが、学校給食課の方には教育委員会から学級閉鎖の電話がかかってくるかと思えますけども、4月以降、小学校と中学校を合わせるとキャンセルの回数が延べどれ位あったのでしょうか。

事務局（三宅栄養教諭）

学級閉鎖がなかった日が、3、4日ぐらいしかなかったと私は記憶しています。それ以外の日は毎日どこかの学校で学級閉鎖があったと思います。

藤田委員

自分らの学校だけ見ると3回だけというふうに思いますけれども、米子市全体で考えるともうひっきりなしに対応してもらっているのだろうなあと思います。学校の方も給食が来てしまったら処理のしようがないので、本当に臨機応変に昼夜問わずに、対応していただいているのではないのかなあと思います。

12月頃はけっこう収まっていたのですが、今年になってから、年が明けてから急にまた増えてきました。1月から今までの半年間の間に、3日か4日ぐらいですか。

事務局（伊藤課長）

今年度に入ってから3、4日です。

藤田委員

正月以降を考えてもかなり多いですね。それを含めたとしても全く学級閉鎖をしてない日というのは少なかったと思います。だから、本当に大変だなあと思っています。

実際には、学校現場でコロナの対応というのは、だんだん少しずつ緩和されてきていると思います。陽性者が出たら検査キットを配布して、場合によっては次の日はお休みにするというのが、鳥取県の場合には一般的かと思いますが、他の県を見るとそこまで徹底してPCR検査をやっていません。濃厚接触と思われる児童だけPCR検査をして、学級閉鎖をせずに学校、学級は通常どおり休まない。だから給食も当然提供されるというのが他の県だと思うのですが、鳥取県の給食は学級閉鎖が多くても本当によく対応していただいて、ありがたいなあと思うのと、本当に大変だなあと思っています。

増田委員

私の子どもは和田小学校ですけども、幸い学級閉鎖などはなかったのですが、やっぱりPCR検査をしなければいけないという状況になり休まなければいけないという子どもたちが何人かいて、そうすると小規模な学校ですけど、欠席者の分の給食も来るので、みんなで分けて食べることになるようです。けっこう必死で食べていると言っていました。今日は何人分食べたとか言っています。

多分、それぞれいろんな対応をされたことがあったかと思うのですが、それでも分散登校の時も給食が出るだけでも保護者の方はすごく助かったと思うので、すごくそういう対応というのが、ありがたかったです。

松本委員

私の子どもは福米中学校ですけれども、小学校の時から残る量が多いというのは先生から聞いていました。子どももそれは先生から聞いて、みんなで頑張って食べているんだけど、やっぱりさっきの話にもありましたが、たくさん残るようです。休んだ人の分まであるので量が多いというのは、子どもから聞いています。食料ロスについても子ども達も学んでいて、どんどん上の学年に上がれば上がるほど、SDGsとかそういう教育をしているから余計にそういうことは考えるようで、家に帰っても話をしてくれるので状況を把握しているのですが、そういう余ったものが本当にもったいないと思います。

ですが、給食を止めると、いろんな方がいらっしゃるので、給食を食べたいと思っておられる家庭環境の方もおられるのも知っていますので、給食を止めない方向というのは大切なあとと思っています。

あと、よその県ですと、コロナ禍でいろんな食材費が上がっていて、給食費が上がるという話をけっこう耳にしています。今そういうことが話題になっている中で、米子市は今年度、給食費を値上げしないで、すごいご苦勞をされながら、されているのだろうなあとと思っています。保護者としては負担が少ないのはいいのですが、現状としてどうなのかなあというのが1つと、本当にすごくいろいろなものの値段が上がって、この4月以降でも日々上がってきているので、その辺はどうなのかなあというのは、すごく危惧しているところではあります。

事務局（伊藤課長）

今おっしゃられたとおり、米子市は、だいたい県内の市町村も給食費を据え置きにしているところがけっこう多かったです。

今、国の方がコロナの関係で臨時交付金を各自治体に交付するというので、給食費を値上げせずに何とか頑張っているというような自治体に対しても交付金を充てるので、保護者負担を増やさずに給食の質を落とさないようにできるようにというような措置をとろうとしているところでございまして、米子市もそれに乗りたいたいというふうに考えております。

この交付金の話が出るまでは、栄養教諭、栄養職員の知識と技を集結させて、給食費の中で何とかやろうというふうに思っていたのですが、例えば、油などもものすごく値上がりしているので、揚げ物を作るのをちょっと手控えて、いわゆる揚げない揚げ物、市販のコーンでやっているような感じのものを、ここの給食センターでしたらスチームコンベクションオーブンがありますので、それで揚げ物ふうの焼き物を作ったりして、何とかやりくりしているところです。

国の交付金のあるなしに関わらず、対応はさせていただこうかなあとは思っているところですが、おっしゃるとおり、現状としては非常に食材費の値上がりが厳しいので、苦勞はしているところです。

議長（内田会長）

他には、いかがでしょうか。

たくさんご意見をいただきまして、ありがとうございました。

では、他にないようですので、議事の第1号 令和3年度事業報告については、これで審議は終わらせていただきたいと思います。

次に、議事のその他について、委員の皆様から何かございませんでしょうか。

ないようでしたら、事務局の方からは、何かございますか。

事務局（伊藤課長）

事務局が用意した議事といたしましては、以上でございます。

議長（内田会長）

はい、分かりました。では、他に議事はないようですので、次に6のその他について事務局から連絡等がありますでしょうか。

事務局（伊藤課長）

本日は新しく委員になられた方もおられますので、平成30年度からスタートしておりますいきいきこめっこプロジェクトの令和4年度の取組につきまして、三宅栄養教諭の方からご報告させていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

議長（内田会長）

はい。では、よろしくをお願いします。

事務局（三宅栄養教諭）

スライドを使って簡単に説明させていただきたいと思います。

[いきいきこめっこプロジェクトの令和4年度の取組について説明を行う]

議長(内田会長)

何か、今の説明につきまして、お聞きになりたいこととか、ご質問、ご意見等はいかがでしょうか。よろしいですか。

事務局（伊藤課長）

一つだけ大山こむぎのパンのことを追加で説明させていただきます。

事務局（三宅栄養教諭）

昨年度までは月に1回の大山こむぎコッペパンだったのですが、今年度からは毎回、毎週、大山こむぎコッペパンを出させてもらっています。練り込みパンとか、黒糖パンもすべて大山こむぎを使った大山こむぎのパンを出させてもらっています。

議長(内田会長)

パンは一年を通じて、すべて大山こむぎということですね。それこそコストの面でそれがどうしてかなったのですか。

事務局（伊藤課長）

実は、コロナ禍で輸入小麦はすごく値上がりしているのですが、国産小麦や大山こむぎ、県産小麦は値上がりを少しはしているのですが、値上げ幅がさほど大きくなかったというのが1つ大きな要因ではございました。

ただ、一番大きな要因といたしましては、今、米子市では市長が率先して地産地消を進めようということで、国産小麦と大山こむぎを使った時の差額を米子市の予算で直接みている、要するに皆さんの給食費からではなくて、米子市から追加で補助をしているというような格好でやっております。それが月に4週あるわけですから今までの4倍の助成になったという格好でございます。児童生徒の皆さんに喜んでいただけたらなあということで、させていただけるといになりました。

議長(内田会長)

米子市の助成が増えたということですね。ありがとうございます。

その他、いかがでしょうか。

では、ないようでしたら、最後に事務局から何か連絡事項とかはございますか。

事務局(伊藤課長)

本日は、貴重なご意見を多数いただきまして、ありがとうございました。

連絡事項といたしましては、今年度の運営委員会は、本日を含めまして3回の開催を予定しております。次回は、秋口10月ぐらいに、調理場の施設の検証を兼ねまして、見学と給食の試食をお願いしたいというふうに考えております。

日程や開催場所が決まりましたら、ご連絡いたしますので、ご協力とご参加をよろしくお願いいたします。

議長(内田会長)

それでは、皆様のご協力で議事がスムーズに終わりました。令和4年度第1回米子市学校給食運営委員会をこれで終了したいと思います。お疲れ様でした。

事務局

お疲れ様でした。ありがとうございました。